

〔団体の概要〕(NGO/NPO用)

団体名	尾花沢市女性会議「資源循環型社会形成部会」		
所在地	〒999-4224 山形県尾花沢市新町2丁目1の34 TEL:0237-22-0016 FAX:0237-22-0016 E-mail:		
ホームページ			
設立年月	平成13年8月 *認証年月日(法人団体のみ) 年 月 日		
代表者	戸田 志津子	担当者	戸田 志津子
組織	スタッフ	7名(内専従 名)	事務所 なし
	会員制度 (なし)	正会員 名(内訳:個人 名 / 団体・法人 名) 賛助会員 名(内訳:個人 名 / 団体・法人 名) その他会員 名	
設立の経緯	平成10年市の女性センターと各方面で活動している女性が協力し合い、「男女共同参画社会の形成を促進するために」市の女性会議が設立されました。その中の環境問題に興味を持っている人達で作っている1つの部会が「資源循環型社会形成部会」です。		
団体の目的	地球環境について、生命あるもの全てを大切にするために、自分達はどんなことが出来るかを考え、その時の最善と思われるものを実行してみながら、真に豊かな社会作りに貢献することです。		
団体の活動 プロフィール	平成10年、12年、13年 市の議会で模擬議会開催 平成11年、 女性フォーラムで開催 構成員は { ・粉せっけんを製造販売している福祉作業所(はながさ)の職員 ・男女共同参画社会の実現を旨としている方 ・紅花のイメージをもっと地元に着せたいと思っている方 ・地域社会が地域住民の豊かな生き方につながる産業をめざしている方		
財政	活動事業費 (平成13年度)	20,000円	

団体・企業名	尾花沢女性会議「資源循環型社会形成部会」	担当者名 戸田 志津子
--------	----------------------	----------------

〔政策提言の内容〕

* 政策分野・手段の番号は参考資料をもとにお書きください。

政策のテーマ	地域通貨による安全かつ低価格な野菜供給の実現		
政策の分野	番号	8	社会経済のグリーン化
政策の手段	番号	11	地域活性化と地域通貨の促進
政策の目的			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生ゴミ・牛フン等の資源を地域内で循環させる。 ・ 安全な野菜を求めやすくすること ・ 地域内自給率を高める ・ 地域の活性化 			
提言を行うこととなった背景および現状の問題点			
<p>以前、高木善之さんという方の環境問題の講演会で、ドイツに「クラインガルテン政策」というのがあることを知り、とても素晴らしいと思い、それを、何とか地元で実現しやすい方法がないか考え、色々な方と話をしました。</p> <p>尾花沢では、牛が6頭いるということ OKZ 菌という菌を使って堆肥を作っているグループがあるということに着目しました。</p> <p>予想される問題点は、手間をかける野菜作りに関わってくれる人をさがすのがむずかしいということ。生ゴミや牛フンが集まりすぎ、作った堆肥が余ってしまうということだと思います。どちらの問題点も官民の総合力を発揮出来るように、行政の働きかけが重要になってくるのではないかと思います。</p>			
政策の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校、保育園・スーパーマーケット等大量に出る所の生ゴミと牛フンを集め堆肥を作る。 ・ 休耕地を利用して、その堆肥を使った野菜を作る。 ・ 野菜作りに関わる方に活動費として、その地域だけで使える商品券を提供する。その使い方は自由。 ・ そのときに、子供達に草刈、収穫等の体験の場を設け、高齢者、主婦、学生等に子供達の指導を担ってもらう。 ・ 出来た野菜は、学校、保育園の給食で使ったり、八百屋さんにおいてもらい、地元で消費出来るようにする。 ・ 商品券を地域通貨として循環させ発展させる。 			

<p align="center">政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートをつけてください）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・はじめは、人数の少ない保育園の給食に地元野菜をとり入れるようにします。 学校・マーケット等からゴミを引きとるときに、その処理代を集金します。 そのお金で、堆肥代を払います。 地域振興券のような、1年間の期限付の地域通貨を作ります。（はじめは、行政からの助成金で作ります） その使い道は 休耕地を借りるとき 畑を作る人への活動費 畑を耕す人への謝礼 老人クラブ・サークル等に呼びかけて、2、3人の単位で畑を作る人を募る。 年度はじめに、活動費として、使い道は自由の地域通貨を1グループ1万円位の地域通貨を渡します。そして、耕してある土地を有効利用出来る範囲で無料で1年間貸す。（農薬を使わないという条件付）出来た野菜を保育園から購入してもらおう。（代金は生産者が受け取る） 途った野菜は、生産者が利用する。 そのようにして、2、3人のグループを少しずつふやしていき、提供する種類、回数をふやしていき、学校のように人数の多いところにも対応出来るようにしていく。 14年度、私達がとりくんでみようということは、畑をかりて、フロンティアジャパンで作った堆肥をまいたところと、何もまかないところ、2ヶ所で、紅花、とうもろこしを作ってみて比べてみるということと、出来たとうもろこしを保育園に寄附しようということです。
<p align="center">政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市（希望） ・ 市民、女性会議「資源循環型社会形成部会」 ・ 協力、フロンティアジャパン
<p align="center">政策の実施により期待される効果</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然とかかわり合うことにより「豊かさの実感」を味わえる人が増えます。 ・ 高齢者・主婦・学生等の能力を生かすことが出来ます。 ・ 地域通貨を促進することにより、地域が活性化します。（経済の地域内循環が図れます。） ・ また「お金」にしばられない、経済活動が行なわれます。 ・ ゴミの減量化が図られます。
<p align="center">パンフレット等添付資料名</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 我ら地球家族 ・ 第3回尾花沢市女性会議議事録 ・ 女性センターだより ・ 福祉おばなざわ